

二百二十碼胸泳ぎ(プレストストローク)

四百四十碼

八百八十碼

一哩

二百碼團競體泳(四名一組各五十碼)

採點法左の如し。

一等 三點、二等 二點、三等 一點。

極東オリムピック水泳大會に於ける我國水泳家の成績は順次に示すが比島、支那、日本三ヶ國の水泳のみに於ける撰手權獲得を表示すれば、極東オリムピック水泳大會第一回一九一三年(於マニラ)

一、比島 二、支那 三、日本

極東 同 第二回一九一五年(於上海)

一、支那 二、比島 三、日本

極東 同 第三回一九一七年(於東京)

一、日本(四七點) 二、比島(三點) 三、支那(三點)

極東 同 第四回一九一九年(於マニラ)

一、比島(二五點) 二、支那(一〇點) 三、日本(九點)

右の内第三回オリムピックに於ては比、支同點であつた。第四回オリムピックに於ては内田正正練氏獨りにて一着を三回得て總九點は彼獨りにて獲得したるとのなり支那の一〇點は別表に見る如く一競泳にも一着を取ら

す只だ二着三着を取れるのみにて此の點をなせるのである。

左に一九一七年及一九一九年即ち第三回、第四回極東大會に於ける三ヶ國選手の成績を表示すれば。

極東第三回水泳選手權大會

(1917年東京)

五十碼競泳

一着齋藤兼吉(日)26秒¹/₅ 二着鵜飼彌三郎(日)27³/₅ 三着ミカロソ(日)28秒²/₅

百碼競泳

一着齋藤兼吉(日)1分5秒 二着内田正練(日)1分5秒²/₅ 三着白山原三郎(日)1分10秒¹/₅

百碼背泳(バツクストローク)

一着三好和康(日)1分23秒¹/₅ 二着鈴木忠雄(日)1分28秒¹/₅ 三着李羅伯(支)1分

31秒

二百二十碼競泳

一着内田正練(日)2分46秒¹/₅ 二着池谷謹一(日)3分2秒³/₅ 三着鵜飼彌三郎(日)

3分4秒³/₅

二百二十碼胸泳(フレストスローク)

一着高濱義春(日)3分29秒 二着李羅伯(支)3分51秒 三着松本樹雄(日)3分56秒³/₅

四百四十碼競泳

一着能重道太郎(日)6分41秒¹/₅ 二着加藤正胤(日)6分54秒¹/₅ 三着玉井晋次郎

6分56秒³/₅

八百八十碼競泳

一着内田正練(日)13分42秒¹/₅ 二着八牧貫一(日)15分2秒 三着池田英雄(日)15分48秒

- 一哩
 - 一着 今村豊(日)29分43秒 二着 能重道太郎(日)29分57秒 三着 中田雷吉(日)30分3秒
- 二百二十碼リレー
 - 一着 日本 1分51秒^{3/5} 二着 比島 2分2秒 三着 支那 —

極東第四回水泳選手権大會
(1919年マニラ)

- 五十碼競泳
 - 一着 内田正練(日)27秒 三着 イソガ(比) 三着 エソノサカチエソ(支)
- 百碼競泳
 - 一着 イソガ(比)1分4秒^{3/5} 二着 エソノサカチエソ(支) 三着 ムサ(比)
- 百碼背泳(バフクストローク)
 - 一着 ガラディー(比)1分21秒^{1/5} 二着 アルセンソン(比) 三着 フェルナンデツ(比)

- 二百二十碼胸泳(ナレスイストローク)
 - 一着 フェルナンデツ(比)3分16秒^{1/5} 二着 ビスコソテ(比) 三着 イクチンオオ(支)
 - 四百四十碼競泳
 - 一着 内田正練(日)6分8秒^{3/5} 二着 リキソクキクサン(支) 三着 カンシンガソ(支)
 - 一哩
 - 一着 内田正練(日)29分26秒 二着 オソノシンガソ(支) 三着 レキソコリサン(支)
 - 百六十碼リレー
 - 一着 比島 1分30秒^{3/5} 二着 支那 三着 日本
- 注意——以上の内五十碼の外は全部極東オアシベツカのレコードを破れるものなり。

極東體育協會撰手競泳會記錄

種目	年號	極東選手(1913(マニラ))	同 同 同	
			1915(上海)	同
50 碼		—	レコード	—
100 碼		エソリ	日	鵜飼彌三郎 1.32 ₂ / ₅
100 碼背		スニチツツ	支	上 1.9 ₃ / ₀
220 碼胸		アルバソ	支	上 1.3 ₉ / ₅
220 碼		アルバソ	支	上 4. ₃ / ₅
440 碼		クリストバル	支	上 3.27 ₂ / ₅
880 碼		—	日	鵜飼彌三郎 7.21

種目	年號	極東選手(1913(マニラ))	同 同 同	
			1917(東京)	1919(マニラ)
1 哩		ソバル	日	鵜飼彌三郎 31.95 ₄ / ₅
160 碼リレー		比 島	支	—
220 碼リレー		—	支	那 2.25 ₂ / ₅
跳伸(アラソツ)		スアリナ	支	1 36. 呎
		同	同	同
		人 名	日	人 名
50 碼		齊藤兼吉	日	内田正練 0.27
100 碼		同上	比	イソガ 1.4 ₂ / ₅
100 碼背		三好廣康	比	カツテイ 1.21 ₁ / ₅
220 碼胸		高濱義春	比	フェルナソ 3.16 ₂ / ₅

220	碼	日	内田正練	2.46 ¹ / ₃		
440	碼	日	能重道太郎	6.41 ⁴ / ₅	日	内田正練 6.38 ³ / ₅
880	碼	日	内田正練	13.42 ³ / ₅		—
1	碼	日	今村 豊	29.43	日	内田正練 29.36
160	碼リレー	日	—	—		比 島 1.30 ³ / ₅
220	碼リレー		本	1.51 ³ / ₅		—
(跳伸アラソツ)			—	—		—

昨年(さくねん)にマニラに於て行はれたれ第四回一九一九年度オリムピックは淡水にしてマニラ青年會館内スキミング、プール(水漕)にて行ひしものにして東京神田青年會館スキミング、プールと全然(ぜんぜん)同大(どうだい)のもで(長さ二十碼)折り

返しが甚だ必要(ひつたふ)であつたが内田氏は冬中マニラに行く前に神田同會館にて熱心に練習した爲め廿碼の狭まきプールに於ても少しも苦痛(くるしみ)を感じなかつた相である。以上は全然(ぜんぜん)水泳(すいえい)専門家(せんもんか)のレコードとも云ふ可きものであるから初心者(びんせうてい)にはどの位のものであるかの標準(ひょうじゆん)が付かぬものであるから、あまり専門家の少ない、そしてコンヂッションとしても、タイムとしても總て(すべ)最も正確である所の神田基督教授青年會館水第(たいてい)育館(いくくわん)内のスイミング、プールに於ける過去二三年間のレコードを参考までに示して見る。

大正七年五月廿五日(土)水泳第一回大會

二十碼競泳

九秒 $\frac{2}{5}$

座間(房中)

九秒 $\frac{3}{5}$

座間(房中)

九秒 $\frac{4}{5}$

松澤(一中)

百碼胸泳

一分三〇秒 $\frac{1}{5}$

谷池(房中)

一分三九秒 $\frac{4}{5}$

津田(一高)

一分四〇秒

畑(帝大)

一分四九秒

網野(札幌)

跳伸(フレンジ、フオアデイスタンス)

三八呎

馬場(水産講)

三七呎

津田(一高)

三五呎

池谷(房中)

大正八年四月第二回大會

二十碼

一〇秒

松澤(一中)

一〇秒

枝吉(一中)

一〇秒

澤田(一高)

四十碼(一九一三年マニラ、オリムピックに於て)
(ベニテツツの作りし記録二二秒 $\frac{4}{5}$)

一二秒

松澤(一中)

一二秒 $\frac{3}{5}$

枝吉(一中)

一二秒 $\frac{1}{5}$

澤田(一高)

四十碼背泳

三〇秒 $\frac{1}{5}$

救吉(一中)

三二秒 $\frac{1}{5}$

澤田(一高)

跳伸(ブランド)

四一呎半

馬場(水産講)

三五呎半

村井(教)

三五呎半

松澤(一中)

百碼

一分二三秒

松澤(一中)

一分一六秒

中野(早大)

一分二〇秒

網野(札幌)

二百二十碼

三分二九秒 $\frac{3}{5}$

中野(早大)

百六十リレー

一分三八秒 $\frac{4}{5}$

大正九年第三回水泳大會(青年會館タック)
五月二十九日(土)午後五時

1. 200 碼競泳

賞 興 牌

時 間

1. 村井 富之助

賞 銀 牌

3分00秒6

2. 齋藤 喜八郎

賞 銅 牌

3分01秒4

3. 各務 政紀

賞 銅 牌

3分22秒0

- 4. 河合 三 3分40秒0
- 5. 安井 節三 3分52秒5
- 6. 西原 政 4分24秒6
- 7. 原 實 4分36秒6

2. 初等五種競技 (Pentathlon)

賞與	40碼競泳		80碼胸泳		40碼跳伸		80碼競泳		80碼競泳	合計
	時間	着順	時間	着順	時間	着順	時間	着順		
1. 齋藤 喜八郎	25秒8	1分18秒8	1分15秒2	1	37呎	1	32秒0	1	1分2秒8	9
2. 長場 晴馬	26秒6	2	1分15秒2	5	37呎	3	32秒0	1	1分2秒8	12
3. 廣川 俊次	28秒0	4	1分13秒2	3	39呎	4	32秒0	1	1分58秒2	13
4. 廣川 俊次	28秒8	5	1分9秒4	2	27呎	6	34秒2	2	1分4秒4	20
5. 長谷川 政	28秒0	4	1分13秒8	4	33呎	2	37秒0	8	1分3秒2	22
6. 長谷川 政	29秒8	3	1分19秒0	7	28呎	5	37秒6	9	1分5秒6	30
7. 各務 政紀	30秒2	8	1分17秒4	6	31呎	3	35秒6	6	1分6秒4	30
8. 中川 新右衛門	29秒2	6	1分24秒6	10	33呎	2	35秒4	5	1分9秒2	31

9. 安井 節三	29秒0	7	1分19秒4	8	26呎	7	35秒0	4	1分11秒2	9	35
10. 河井 三三	33秒9	9	1分19秒8	9	29呎	4	36秒4	7	1分12秒2	10	39
11. 牛澤 正三郎	36秒6	11	1分33秒8	11	22呎	8	38秒4	10	1分27秒0	11	51

3. 高等五種競技 (Higher Pentathlon)

賞	40碼 着順		兩手緊 着順		兩足緊 着順		40碼 潛水 着順		80碼 競泳 着順		計
	時間	着順	時間	着順	時間	着順	時間	着順	時間	着順	
1. 等松澤一鶴	33秒2	(1)	34秒4	(1)	34秒4	(1)	27秒8	(1)	56秒4	(1)	5
2. 等後藤 里	36秒0	(2)	39秒0	(2)	39秒4	(2)	31秒4	(2)	61秒4	(2)	11

4. 飛込 (Fancy diving)

- 小谷野寬猛 柳田 享 村上 英明

5. 20碼逆行競泳
- 1着 松澤 鶴一 30秒6
 - 2着 飯田 光太郎 36秒2
 - 3着 中川 新右衛門 71秒4

4着	後藤	里	46秒2
5着	廣川	俊一	48秒4

6. 200碼×2プー競泳

1.	松澤	鶴一	3分7秒0
2.	技吉	三三	3分40秒6
3.	中川	新右衛門	4分19秒4
4.	飯田	光太郎	4分56秒6

前頁に於ける高等及普通五種競泳は詳細に採點法をも示したるもので、着を一點とし同着二人ある時は同點を一兩人に與ふ。

出發(スタート)

競泳中長距離は別として短距離に於てはこのスタートを誤らず正確に

行ふ事は最も必要な事で氣がせくため誤つて發砲前に飛び込むが如き醜態を演じない様に練習中は充分習つて置く必要がある。この過ちは反則を宜せられるのである。ファウルを取らざる範圍に於て最も敏速にスタートするが最も良い、一九一七年東京のオリムピックの時まではオン、ユア、マーク、……ゲットセット……ドンでスタートして居たが現在はゲット、レディ……ドン或は、用意。ドンになつて居る、ゲットセット或はゲットレディで體を前に出して手を振つて飛び込むための反動をつけてはならぬのである何となれば若し豫期したよりもピストルが甚しく遅く鳴る時には自分はず支へ切れずに號砲より前に飛び込んでしまふからである、諸君がトラックに於て百米のスタートをなす場合と同様である、短距離にては競

泳中に方向を見る隙もなく息も可成り心棒せねばなるのであるから豫かじめ、よく方向の感念を頭に入れ充分呼吸をなし敵との地位關係をも念頭に入れて置く必要がある。スタートは立巾跳と同じ姿勢を取つて號砲と共に成る可く遠くに浅く手を頭上に合はせて逆飛びを行ふのである體が未だ水面に浮び出ぬ間は少しでも速力を加へ様と思つてクロウルの脚を用ふるのは却つて進行を止めるもので益にならぬ相である何となれば水中を進んで居る時は彼が泳いでいる最も速い時よりも速く進んで居るから足を動かせば却つて抵抗を來すからである。

折り返し (Touching and Turning)

百碼或は其れ以上の長さの競泳場に於てはさ程でもないがマニラに於けるオリムピック或は東京青年會館のプールの如き二十碼位の長さの場所にては競泳中勝負がこの折返しダイニングの技術の巧劣による所甚だ大である、折返しと云ふのは水漕の一端から一端まで行き其所より再び側壁に手を觸れて歸る場合之れに手を觸るゝ事と體を反對の方向に廻轉する動作とを最も敏速に行ふ術である。其の方法は先づ競泳者一端より水漕の他の一端に來り側壁より約三呎の所にてトラジオンストロトクにて進み來り右手は水中にあり左手は後方にて丁度水面を離れて水面上を前方に運ぶ動作に移れる時とすれば右手を強く水を押して無理に體を進め左手を前方に運び前にて水中に入れて避に左手常を平らに附け前進の余勢にて體を壁に接近せしめ次

に抜かれたる右手を前左手の右に母指を先に水中に入れ同時に左手にて側壁を押す力によりて體を左に(勿論水中にて)、轉廻し尻を側壁に向ける様にし兩足を揃へて側壁け水中で水底に面して兩手を頭上に延ばして揃へたる形にて、側壁を兩足にて蹴りて水面下約二呎を漸らく滑走し水面に浮び出づるので之れは九呎乃至十五呎程勢ひ良く潜行するものである、潜行中は後節跳伸の姿勢を保つ可きものとする、以上のターニングはブレラストストローク及びバックスマロークには全然規定に反するから用ひられぬが其他の競泳に應用してはこの方法に右に出づるものがない位である。

呼吸

競泳に用ふる泳ぎ方には特種な呼吸がある全力を盡して競泳中には到底一度、一度水上に頸をつき出して完全なる呼吸をする様な事は望まれない理で従つて最も瞬時に充分の呼吸をなし得る方法がある、呼吸法は競泳をするには一番大切な條件で、これを學んで直ちに今日より應用し得ると云ふ理けには行かぬもので永い間の熟練がなければならぬ。

其の方法は右下の人は左手が體の側後方にて水面に表はされた時に頸のみ或は肩と共に頸部を廻轉して鼻及び口を水面上に現はさしめ口より息を充分吸ひ込み置く、吸氣後は直ちに顔面を元の如く伏せて泳ぎを繼續し吐く息は鼻から水中にて吐き出すのである、オストラリアの婦人水泳家として知られたアンネット、ケラーマンを諸子は活動寫眞に於てもよく知つて

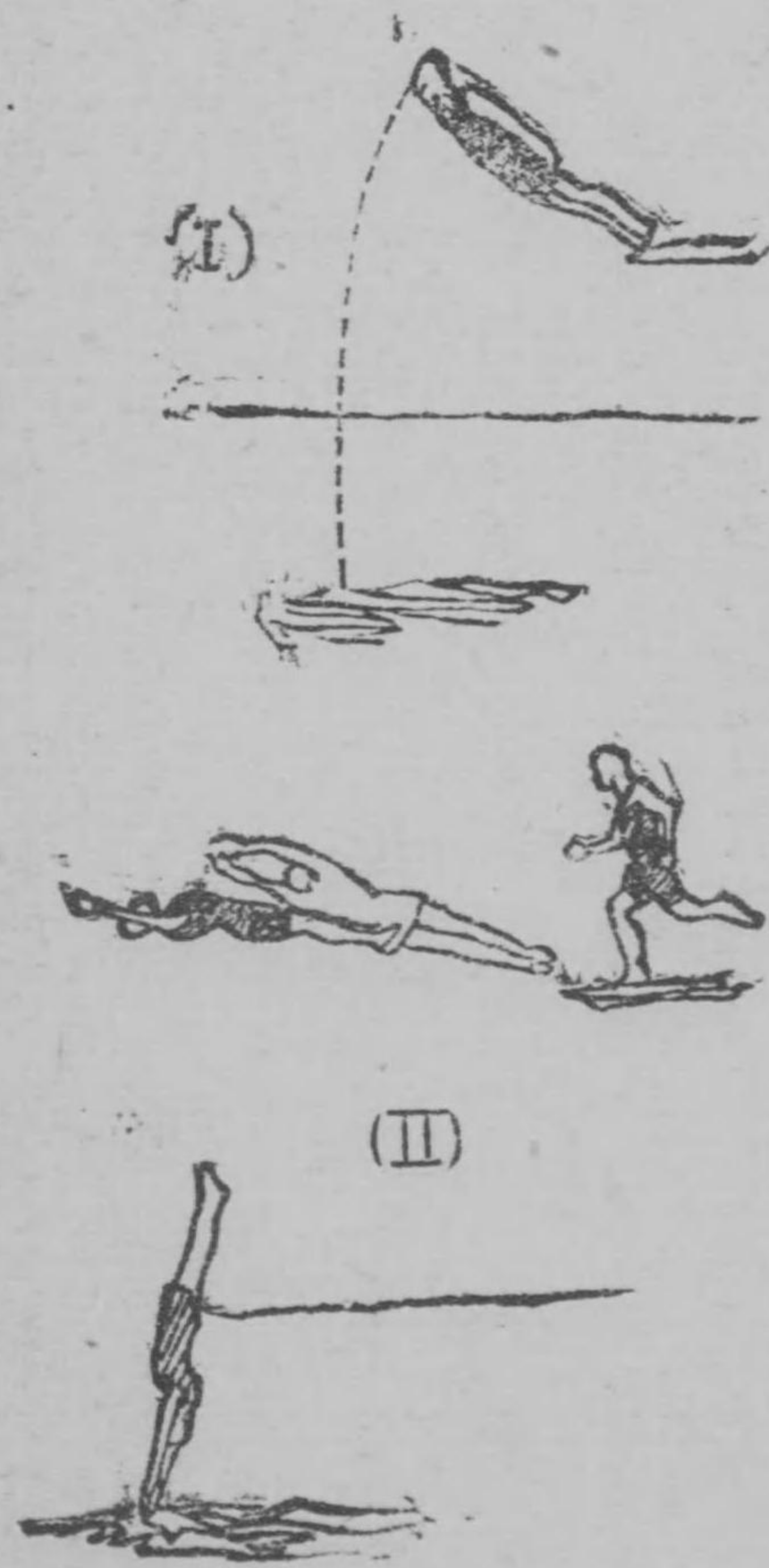
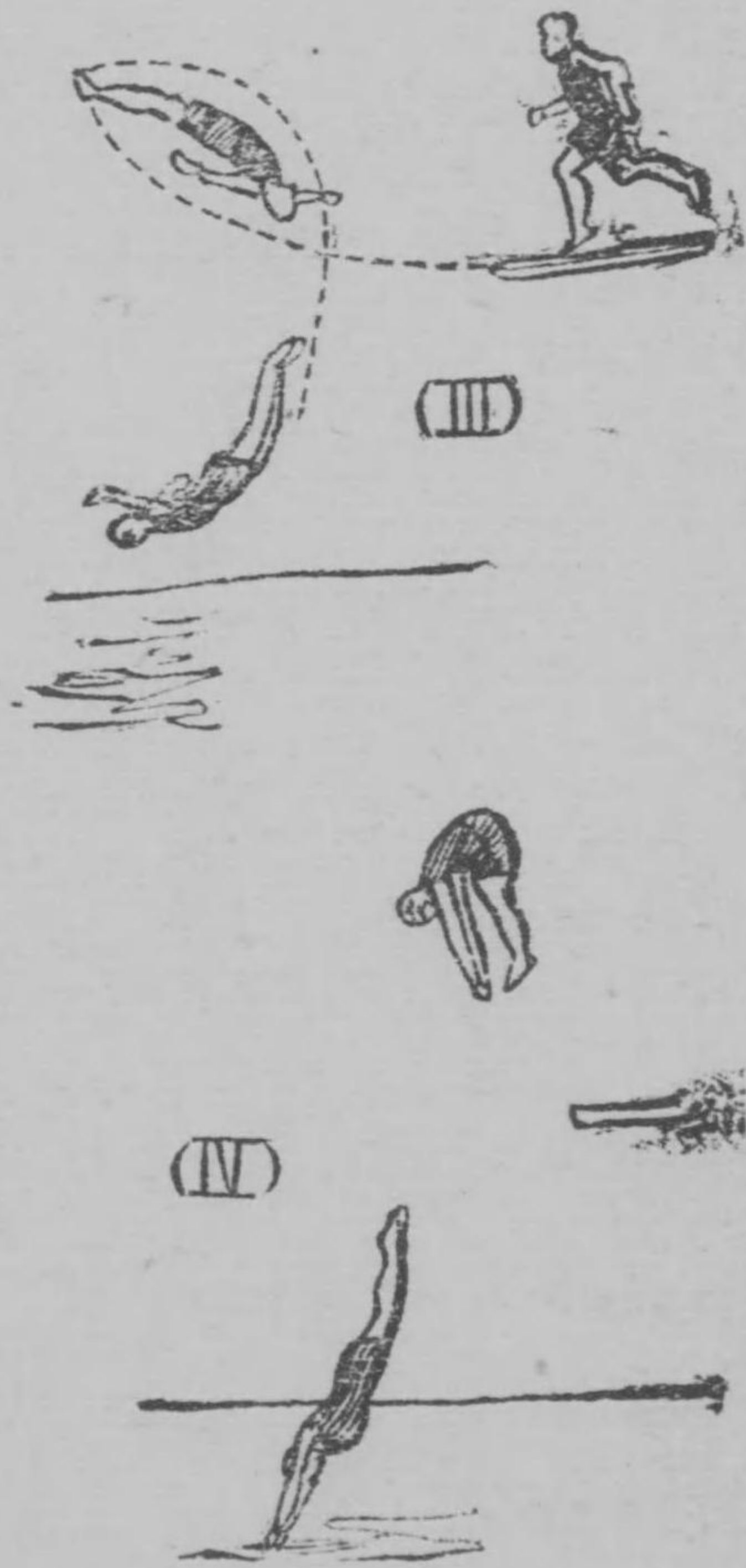
居られるであらうが彼の呼吸は實に美しく行はれる相である、彼女は云つて居る、一口を通して空気を急激に吸ひ鼻からは靜かに息を出すのである」と云れは先づ昔で云へば秘決とも云ふ可きであらう。要するにこの呼吸法のみは始めて學ぶ者には短日月に習得し得るものでない、しかし種々の練習から突然會得する事が多い。

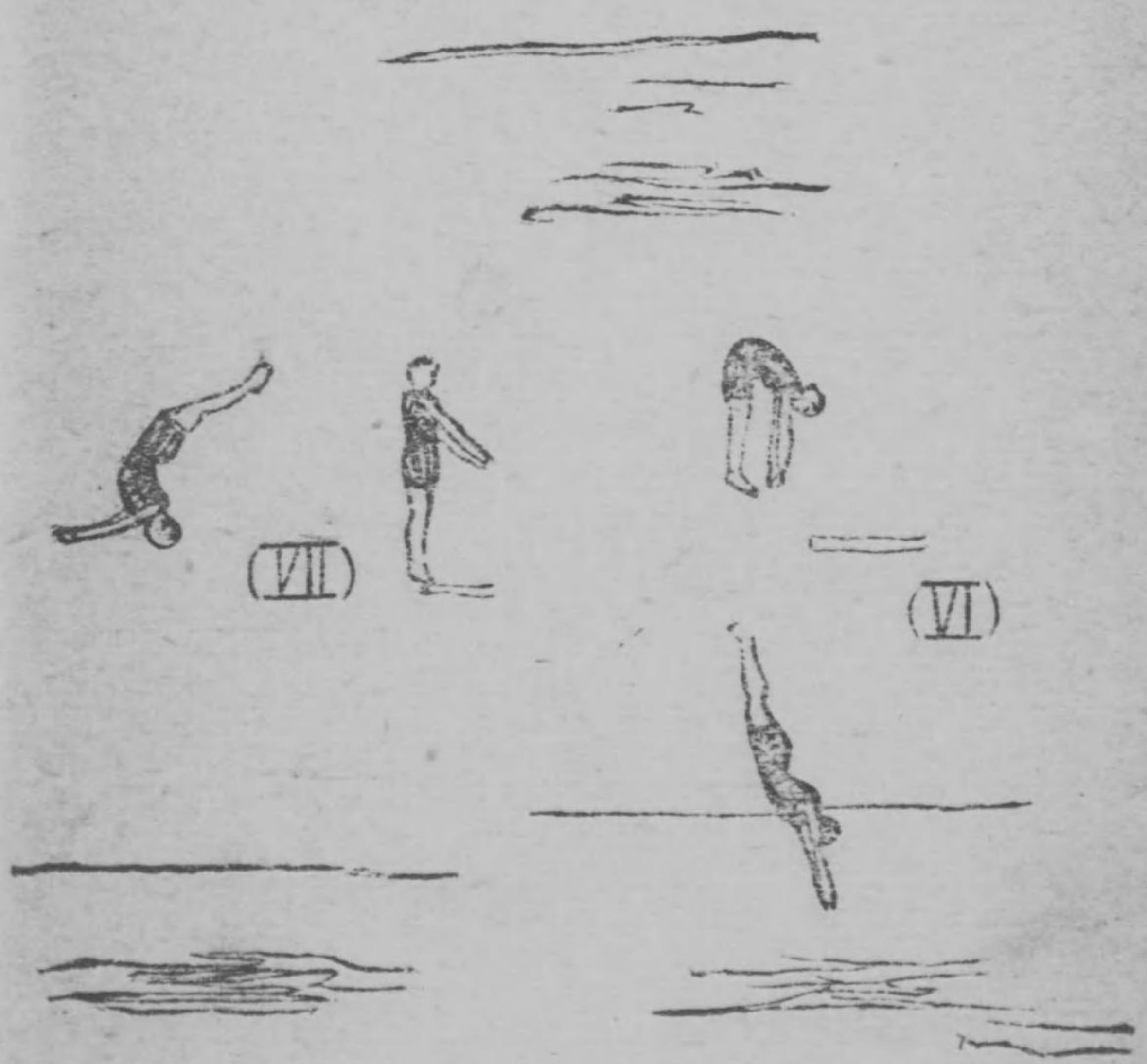
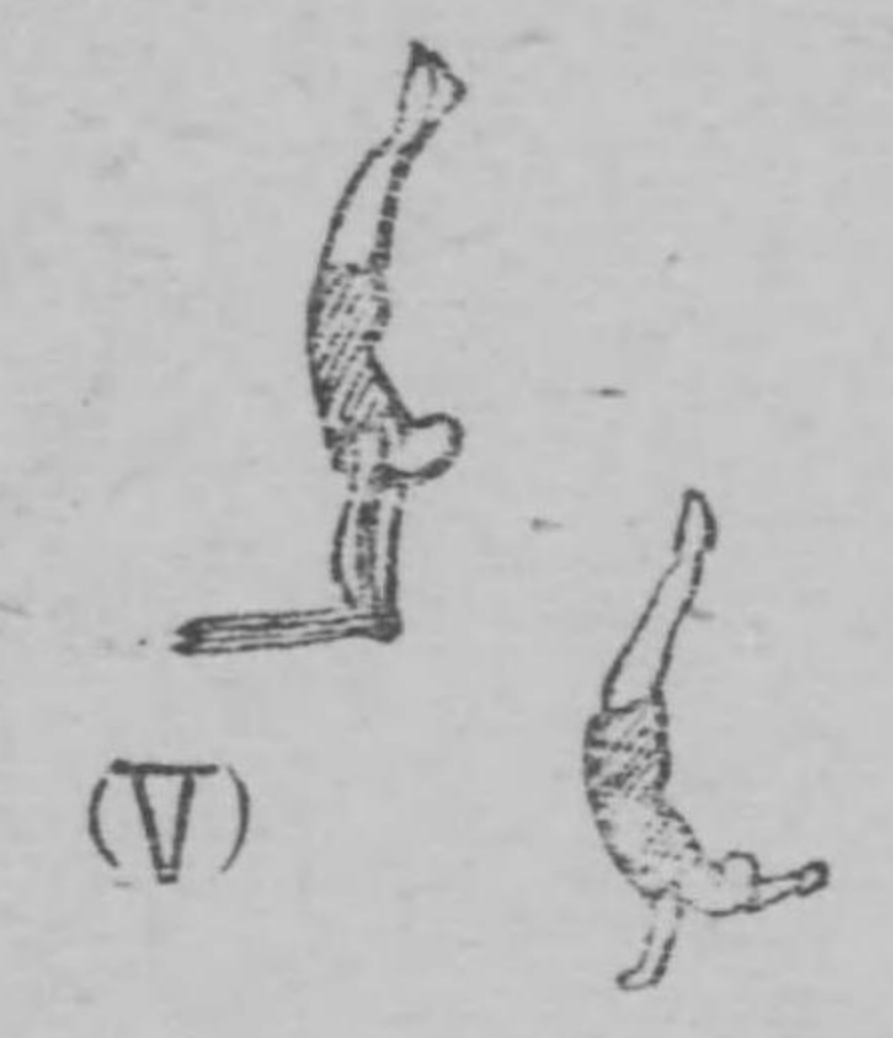
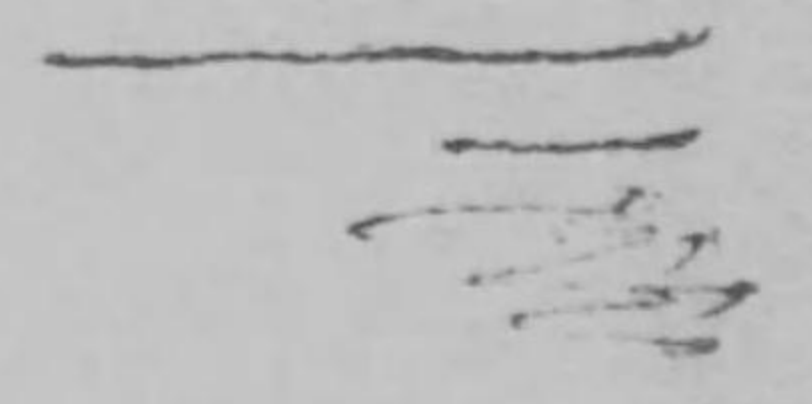
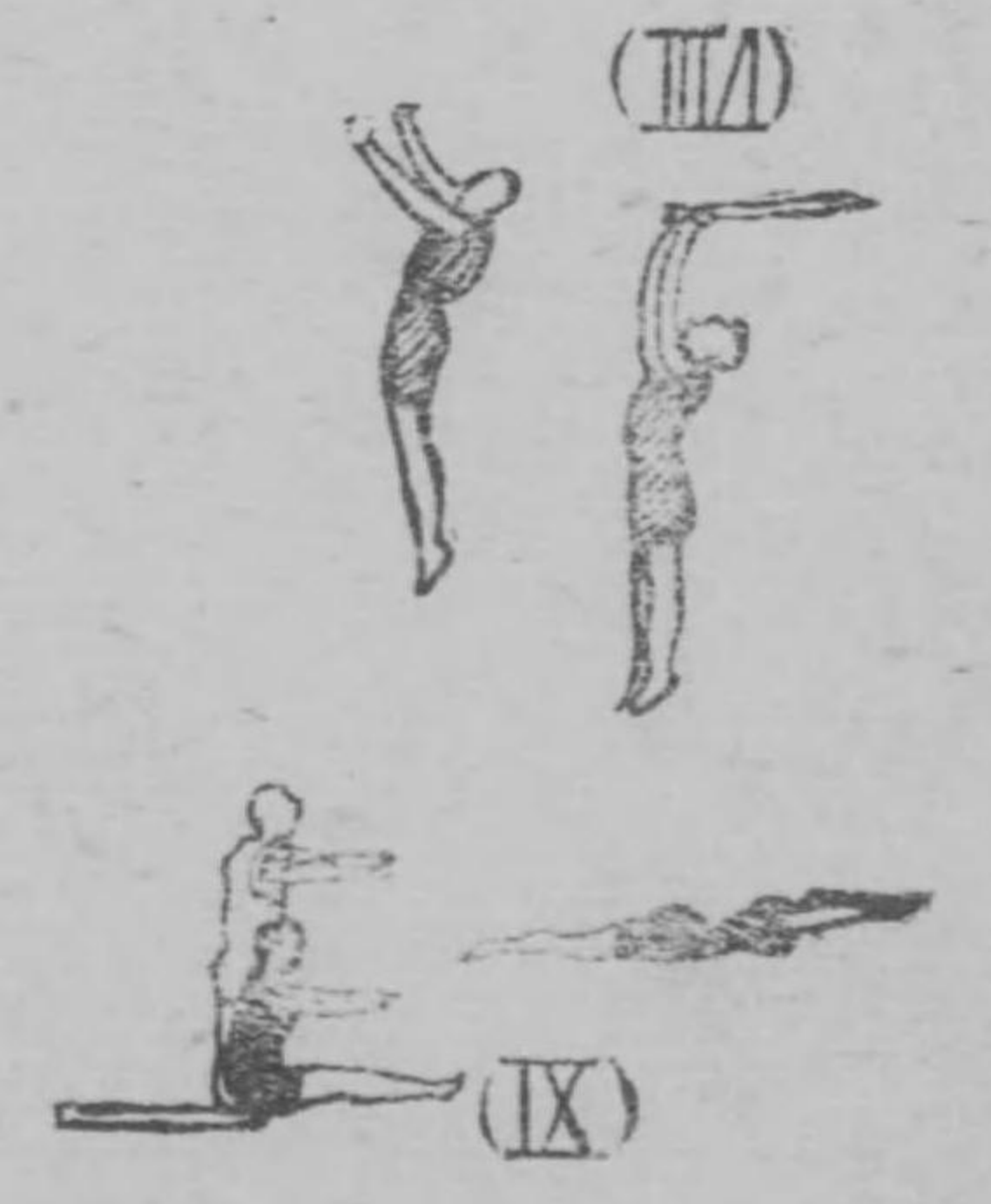
跳伸 (Plunge for distance)

跳伸は極東オリムピック規定にあれ共競技はプログラムより除外してあるが歐米では盛んにレコードが作られつゝある、其の方法は競泳の場合のスタートと同様に踏切板に立ち自から前方に飛び込み其の儘全然體の如何

なる部分も動かさずして六十秒間に到達したる點と踏切板との距離を以て記録をなすので、兩手は頭を狭み頭上に眞直ぐ肘指と肘指とを合せ足も爪先を延ばして揃へて水中にて踏切りたる時の餘勢に成る可く抵抗せざる形に餘勢を永く保ち呼吸を永くこらへるのである。之れは勿論呼吸の續く人及體の肥大せる人程利益がある、三十秒の時審判官は水泳家に凡その體の方向及度数を報告する、然し體の何れの部分にても左右側壁に觸れたる時はフアウルを禁せらる飛び込みの深淺の度は淺くても深過ぎてもならぬ、最も適當とせられてあるのは水面より二呎の部分である。

飛び込み (Diving)





- (I) 1 a ling dive. フォーリング、ダイブ
- (II) Snow dive. スクリュー、ダイブ
- (III) Come-back dive. カムバック、ダイブ
- (IV) Jack-keie dive. ジャックナイフ、ダイブ
- (V) Hand stand dive. ハンドスタンドダイブ
- (VI) Back Jack-knife dive. バック、ジャックナイフ、ダイブ
- (VII) Back dive. バック、ダイブ

- (VIII) Back Hand stand dive. バック、ハンドスタンド、ダイブ
- (IX) Flap Jack dive, フラップジャックダイブ

氷泳術階梯 終

大正九年七月二十三日印刷
大正九年七月二十三日發行

著者

村上

上

博

發行者 東京市四谷區忍町二十番地
相川治平

水泳術階梯

版權所有

定價九拾錢

印刷者 東京市神田區西小川町二ノ六
宮田龜六

發兌所

東京市四谷區忍町二十番地
振替貯金口座東京四五〇五七番

文展堂書店

發賣所

東京市日本橋區大傳馬町二丁目二十一番
地振替口座東京一〇六〇番

文林堂書店

(大 成 社 印 行)





388
331

9.9. A

終

